外注化阻止ニュース 第２８７号

〔発行日〕２０１６年１１月２日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

過去同事例「処分なし」「報道で信用失墜」理由

トイレ問題 会社の体面で運転士の人生を奪うな！

佐倉駅で運転席から用を足した運転士が減給処分・運転士剥奪とされた問題で、動労千葉は10月31日に団体交渉を行いました。

「報道された」から運転士剥奪

6年前に錦糸町駅でまったく同じ事態が起きています。このときは、当該運転士への処分は一切ありませんでした。まったく同じ事態にも関わらず不均衡な処分を行ったのです。

会社はこれを追及されると「今回は会社の信用が失墜した」「錦糸町の時は信用失墜していない」と回答しました。つまり、本人の行為ではなく「報道されたことが悪い」というのです。

結局、会社の体面を守るためだけに犠牲を運転士に転嫁し、減給と強制出向・運転士剥奪という重処分を行ったのです。

日刊　2016年（平成28年）11月1日（火曜日）

運転士放尿でＪＲ労組見解

出向処分は「不当」

背景に過酷な労働環境

JR千葉支社の男性運転士が今年9月、JR佐倉駅で乗務中に運転席から線路に放尿した問題で、勤労千葉は31日、千葉市内で記者会見し、同支社が男性運転士を出向処分としたのは「不当処分だ」として、撤回を求める方針を表明した。組合によると、男性運転士は処分を受け、10月28日に退職願を提出。組合は「放尿は一度ならずあり、背景には運転士の深刻な労働状況がある」と主張した。

この問題は9月12日夕、JR総武本線錦糸町発千葉行き上り電車（4両編成）を運転していた男性運転士（当時50代）が尿意を我慢できず、佐倉駅での停車時間中にホームとは反対側の運転席の窓を開けて放尿、目撃者の同支社への連絡で発覚した。

組合によると、男性運転士は10月31日に減給処分と行路（乗務）変更を言い渡された。同日午後5時ごろ、同支社は、乗務中のトイレのトラブルは「輸送司令室に連絡し、駅などのトイレを使用するよう指導している」とする方針を組合に示した。

会見で組合の田中康宏委員長は、男性運転士の当日の担当運転区間を「出区（千葉駅）から千葉駅への回送まで、2時間以上トイレに行けない行路」と説明。また、20年にJR錦糸町駅（東京都墨田区）で同様の放尿問題があったことを同様の放尿問題があったことを説明し、「そのときは処分はなかった」と強調した。

組合は、運転士から聴取の多い佐倉駅のホーム反対側トイレを設置するよう、数年前から同支社に要求。田中委員長は「ホームにトイレがあるだけで運転士は転士もいる。精神的に追い詰められている」と主張した。

組合は、運転士から聴取の多い佐倉駅のホーム反対側トイレを設置するよう、数年前から同支社に要求。田中委員長は「ホームにトイレがあるだけで運転士は

だい公害になる。運転時間（ごに停止の長い内房、外房線での設なかった置も併せて、会社に訴えていきたい」とした。

運転士、信号見逃しか

JR総武快速線で車体

31日午後5時25分ごろ、千葉市花見川区幕張本郷5のJR総武（快速）幕張車両センター構内で、幕張発千葉行き下り電車（8両編成）が、出庫時に信号機確認のため停止した。JR千葉支社によると、運転士が出庫時に停止信号を見逃した可能性が高いという。車両は信号機を通過して

富津国道4人死傷

富津市事故で富津運転処死傷）の

新聞各紙が動労千葉の主張報道

動労千葉は団交後、記者会見を行いました。処分の不当性、行路緩和やトイレ設置など乗務員の労働条件の改善が必要であることを訴えを受け、新聞各紙で次のように報道されています。

◉同支社は処分の理由を「（問題が）報道され信用を失墜させた」と説明

◉出区から千葉駅への到着まで、2時間以上トイレに行けない行路

◉総武線をはじめ県内は乗務時間が長くなる行路が多く、労組側は数年前から途中の拠点駅の佐倉駅ホームにトイレを設置するよう求めてきた

◉（錦糸町駅のときは）「処分はなかった。不均衡だ」と訴えた。

◉（指令に連絡すればトイレに行っていいという会社の主張について）組合は「遅延する上、遅延の理由が運転士のトイレだとする案内放送が流れたこともあった」と指摘。

◉組合は「トイレの不安から食事をしない運転士もいる。精神的に追い詰められている」と主張した。

処分撤回と乗務員への締め付け反対、行路緩和を掲げて動労千葉と共に職場から声を。